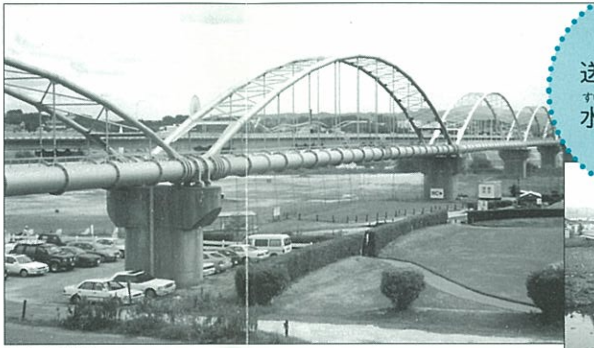
老朽化した送水管を更新工事中!!

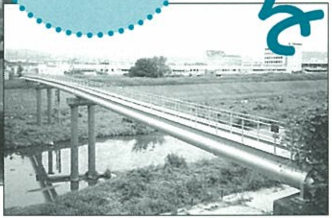
府営水道は、昭和26年2月の通水以来、半世紀を経過。これからも、おいしくて安全な水をお届けするために、平成7年度から、19年度末を目標に、老朽化した送水管（昭和23～31年に敷設し、40～50年以上経過した管）をすべて取り替える更新工事を行っています。

更新工事は、地面を部分的に開削する地球にやさしい手法

送水管更新工事では、古い既設管の中に、より口径の小さい新管を挿入する工法を採用。該当箇所を全て掘り起こす従来の開削工法に比べ、土砂などの廃棄物を大幅に減量化できる技術です。

送水管の一種、水管橋（すいかんきょう）です。


枚方水管橋


宮鳥水管橋

朝一番の水は飲み水以外に！

水道水は安全性が確保されたものです。しかし、朝一番や旅行など長時間使用されなかった最初の水は、ご家庭の給水管に長時間溜まっているため、消毒用の残留塩素が少なくなり消毒効果が薄れています。

また、長時間、水が溜まっていると、ご家庭の給水管が鉛管の場合、ごく微量の鉛が溶け出していることもあります。鉛管は、現在では新たに水道管に使われることもなく、また、府内の水道事業体では水道管に鉛管を使っていません。ただ、ご家庭の給水管が古いものである場合、鉛管であることがあります。（鉛管かどうか不明の場合は、お住まいの市町村水道部局へお尋ねください。なお、給水管は個人の財産です。）

水道水を長時間使用されなかった場合は、念のため、使い始めのバケツ1杯程度の水を、飲み水や調理用以外にお使いください。